

2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人柳川青年会議所	
事業名	一般社団法人柳川青年会議所 2024 年度第 19 回よかもんまつり参画事業 ～ 柳川伝統の柳川凧作り体験～	
事業担当者	甲斐田 大翔	
事業担当者連絡先	Tel:090-7984-3156	Mail:yanagawa@kaida-m.co.jp
実施に至った背景	柳川の産業・商工の振興と市民との交流を目的によかもんまつりが開催されます。本年度 19 回目を迎えるよかもんまつりは、市内外から訪れる多くの人々に柳川のよかもんを実感し楽しんでいただくことで柳川の産業・商工の振興促進に大きく寄与できるイベントです。私たちも、ふるさと柳川の文化や伝統を深く知り後世に残していくべくよかもんまつりへ参画する必要性がありました。	
事業の目的	<p>(対内)</p> <p>昔からある柳川民芸品の文化と伝統に触れ、体験を通じて柳川凧の魅力を感じていただき地域の伝統を残すために意識の醸成を目的としました。</p> <p>(対外)</p> <p>市民の皆様には、普段作ることがない柳川凧作りの魅力に触れ、今ある課題や実情を知りふるさと柳川の郷土愛の醸成を目的としました。</p>	
事業の概要	<p>市内外から訪れた方に柳川民芸の柳川凧作りを体験していただき、楽しんでもらうことで、柳川凧のことを知ってもらう機会を提供しました。</p> <p>また、魅力や実情を伝えるには、体験をしていただくひととメンバーがコミュニケーションを取り魅力や実情を伝え、体験した人が柳川凧やエコバッグを持ち帰ることが他の人にも知っていただく情報発信になると考えました。</p> <p>■柳川凧の実情について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの身近なところから柳川凧がなくなろうとしている。 ・後継者不足により、伝統の継承ができない。 ・多くの官庁施設に、柳川凧が飾られているが、地域の方々に認知度が薄い。 ・シニア世代の方には、認知度があるが、若年層世代にあまり知られていない。 	

	<p>・柳川市も、地域の方々に情報発信の機会を探されている。</p>			
広報戦略	<p>対象者：柳川 JC メンバー 手法：例会、全体委員会にて直接呼びかけ。</p> <p>対象者：柳川 JC メンバー 手法：案内文をメールおよび FAX にて発信。</p> <p>対象者：よかもんまつり来場者 手法：ブース前に立看板を設置。（当日のみ）</p>			
実施による工夫	<p>体験される方にスムーズに柳川凧の材料をお渡し出来るように、柳川凧をモチーフにしたエコバッグを作成し、材料を入れてお渡ししました。体験後もエコバッグを使用してもらうことで、体験者だけでなくエコバッグを目にしたひとにも柳川凧の認知を広めることができると考えております。</p>			
事業の参加者	会員数	21 名	参加率	61.8%
	対外目標	85 名	達成率	88.5%
事業対象者	<p>(対内)</p> <p>柳川 JC メンバー</p> <p>(対外)</p> <p>第 19 回よかもんまつり来場者</p>			
開催期間日時	2024 年 3 月 23 日 10 時 00 分～15 時 45 分			
開催場所	<p>柳川市民文化会館「水都やながわ」</p> <p>〒832-0058 福岡県柳川市上宮永町 43 番地 1</p>			
事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（参画）			
結果	<p>1. 目的がどのくらい達成できたか</p> <p>(対内)</p> <p>事業参加メンバーには 93.8%目的達成できた。</p> <p>(対外)</p> <p>アンケート回答者の 84%は柳川凧が一度途絶えて復刻されていたことを知らなかったため、その方々には知ってもらう機会となった。</p> <p>2. 上記の結果の確認方法</p> <p>(対内)</p> <p>メンバー向けアンケート</p>			

	<p>(対外)</p> <p>体験者向けアンケート</p> <p>3. 検証結果</p> <p>(対内)</p> <p>アンケート結果より、当日に向けて全体委員会を行ったことで、柳川風の文化に触れる機会が多かったこともあり、事業を通して地域の伝統を残そうという意識の醸成につながったとの回答が93.8%となり、高い評価を得られたと考えられます。また当日は21名のメンバーに柳川風づくり体験の協力をいただき、その全員が体験された方とのコミュニケーションをとることができました。</p> <p>(対外)</p> <p>当日は、多くの市内外の方に柳川風を体験していただき魅力や今の課題を知っていただくことができ、体験中には「楽しかった」、「久しぶりに柳川風を作った」などの感想を言ってもらい、体験していただいた方に柳川の郷土愛の醸成ができたと確信しております。</p>
LOM や地域社会への影響	<p>柳川で活動している柳川 JC のメンバーにも柳川風を知らないひとが多くいました。その存在を知れることができたこと、また自分たちで制作を体験したことにより、柳川の伝統文化にさらに愛着を抱くことができたと考えます。そしてよかもんまつり来場者の皆様にも同じように柳川風の存在を知っていただき、制作を体験していただいたことで柳川にはまだまだ知らない魅力があり、その魅力が失われていっているという実情を伝えることができました。郷土の現状を知り、どのようにして郷土の魅力を守っていくかを考える機会を創出したことで、参加者のまちづくりへの意識を醸成する一助となったと考えます。</p>
事業の長期的な影響	<p>まちづくりへの意識を醸成できたことで、まちづくりに携わるひとが増え、より大きな力でまちを発展させることができると考えます。これを機会に、他の郷土の魅力にも目を向け、失われたもの、失われつつあるものを再発掘し、磨き上げ、より多くの魅力を有するまちとして持続的に発展していけると信じます。</p>
考察や推奨	<p>私たちは自分たちのまちの魅力や伝統を知っていると思っていましたが、まだまだ知らないことがあることに気づきました。そして、その魅力は知らないうちに失われていっているということに気づきました。メンバーと参加者には郷土の魅</p>

力が失われているという危機感をもってもらうことができました。これからも継続的にまつりに参画し、多角的にまちづくりへとつなげて参ります。

事業風景(写真)



